



片柳中学校だより

片柳

さいたま市立片柳中学校

第6号 平成29年8月29日発行

さいたま市見沼区大字御蔵551

TEL 048-683-3173

<学校教育目標> 夢をはぐくむ学校 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○心身を鍛える生徒

よりよい集団となることを願って「片中生の力を 片中生の力で」

校長 島村 暁

今日から2学期が始まりました。2学期は、君たちの力の真価が問われる学期でもあると思います。学校は集団の中で学ぶ場であると思います。このような思いから、新学期を迎えるにあたり、「**クラスの一員としての誇りと責任**」「**自分のクラスがもっと好きになれるように**」ということをお話しました。9月に体育祭、10月に合唱コンクールという大きな学校行事があります。行事を通して個人はもちろんのこと、集団としてもさらに成長する(よりよい集団になる)ことができると思います。例年、3年生の校長面接で「中学校生活で印象に残ったことはなんですか」と尋ねると、いろいろな学校行事が答えとして返ってきます。さらに「その取り組みにあなたが心がけていたことは」と尋ねると、「協力(すること)」「団結(すること)」という答えが多くの人から返ってきます。クラスの掲示物の中にある行事に向けた決意表明でも「協力」や「団結」という言葉を書く人が多くいます。そして「協力とはどのようなことですか」と尋ねると「…です、…することです」といった明確な答えがなかなか返ってきません。よく使う言葉で、とても大切な言葉であると思います。そして、実際の学校生活の中で実践できていることでもあるのです。でも、そのイメージはもっていると思いますが、何をする(した)ことなのかと問われると、答えに迷う言葉でもあると思うのです。そのひとつの、「協力」ということについて考えてみましょう。辞書をひくと「協力(する)」とは、「力を合わせて事にあたること、多くの人々が共通の目的のために一つにまとまること」とありました。なんとなく、わかるようでわからないような説明であるように思います。これは私の考えですが、「言うべきことは伝え、聞くべきことは受け入れ、望ましい同じゴールに向かって、同じ場所で同じ時間を共有すること」ではないかと思いますが、生徒のみなさんはどのように考えますか。もし、その答えが見つからないのであれば、この大きな学校行事への取り組みの中で見つけてはどうですか。

2学期に向けてということで、もうひとつ話をしました。それは、学校行事もちろんですが、日々の生活にも目を向けてみたとき、各学年に期待することとして次のことを話しました。

1年生には夏休みを終え、顔つきがより中学生らしくなりました。そこで、「自分たちの力で学級という集団を成長させてほしい」と願っています。中学校は、自分たちで考え、自分たちで話し合い、自分たちで行動をし、よりよいものを創りだすことを学ぶ場でもあります。2学期の終了式で「3つのクラスがさらによりよいクラスになった、よい学年になった」という報告を期待します。

2年生には「学年としてもさらに成長してほしい」と願っています。部活動は、2年生が新しい部長となったように、生徒会、専門委員会など学校の様々な場面で中心となり、実質的に学校を動かしていかなければなりません。そして、最上級生への準備の時期です。現在の3年生の落ち着いた生活が学校の雰囲気をつくっています。その自覚と責任をもった生活を期待します。

3年生には、進路決定に向けて一人ひとりがしっかりと力をつけてほしいと思います。同時に、中学校生活を大切にしてほしいという思いもあります。1学期の終業式で、「校歌、あと何回歌うことができるのかを考えたことがありますか。」と話しました。何気なく、当たり前のように一日が過ぎていきますが、確実に卒業に向けてのカウントダウンは進んでいることを意識して中学生としての生活を充実させてくれることを期待します。